

## お知らせ

### 「パラグアイ北海道交流センター」の建設に支援を

南十字星が中天にきらめく「パラグアイ共和国」には、北海道出身の移住者が千人を数え、南米ではブラジル、アルゼンチンに次いで多くの日系人が活躍しており、一九九九年に北海道入移民六十年、全パラグアイ北海道人会連合会創立三十五周年を記念して、同連合会では「パラグアイ北海道交流センター」を建設着工し、来年八月の記念式典までの完成を目指しています。

昨年南米地域を訪問した堀北海道知事は、パラグアイのセンター建設予定地を視察、地元関係者の強い要請により、積極的支援・協

力の意向を示し、平成十年度道において予算化するなど具体化しています。交流センター建設の目的は①北海道出身者の活動拠点の確立、②移住者子弟寄宿舎の整備、③北海道とパラグアイの交流拠点の整備などです。

こうした動きに呼応して、南米との交流活動を行っている北海道海外協会、北海道日伯協会、北海道パラグアイ懇話会など五団体で構成する「北海道南米圏交流団体協議会」（会長出倉靖知）北海道信連（OB）では、道内での支援活動に取り組み建設資金の提供に関係期間や有志に呼びかけていますが、不況の中、目標達成に苦慮している実態にあります。

そのため、「草の根国際交流運動」として募金活動の輪を広げ、机の中に眠っている未使用の「テレフォンカード」の提供を呼びかけており、昨年十二月より活動を始め現在六千枚になりましたが、さらに募金活動を継続しつつ年度内に二万枚を目指しているところです。

当研究所上田理事長は、「北海

道パラグアイ懇話会」会長を務めるとともに、関係機関に働きかけ建設資金の確保に献身努力をしている一人であり、研究所としてもその推進を側面的に支援をしているところです。

移住六十年、南米パラグアイに生きる、ゆかりの人々との友情の架け橋「パラグアイ北海道交流センター」の建設の実現について、募金活動にご理解ある方々のさらなるご支援をいただくため、関心があり、かつ未使用の「テレフォンカード」の抛出などのご協力ができる場合は、次の事務局にご連絡・問い合わせいただければ、詳しい資料をお届けいたしますので何分のご協力を賜りたく紹介しませ

#### 事務局・問い合わせ先

北海道南米圏交流団体協議会

札幌市中央区北3条西7丁目

第一水産ビル四階

（財）北海道海外協会内

☎〇一一（二七）〇三五三



### 研究会・研修会等への

#### 報告者・講師の派遣

（平成十年五月～七月）

○「田花染の里」花・野菜総合技術セミナー

主催 空知管内農協組合長会

とき JA中央会岩見沢支所

とき 平成10年6月10日

テーマ 「研究者から見た花・野菜流通の課題」

講演者 畠田 義昭（当研究所・常務理事）

○空知管内JA営農販売担当者

交流集会・研修

主催 JA中央会岩見沢支所

とき 平成10年6月17～18日

テーマ 「米価下落に伴う営農指導の課題と対応につい

て」

講演者 富田 義昭(当研究所  
常務理事)

○第八回おしゃべり会・  
話題提供

主 催 帯広市農政推進協議会

と き 平成10年7月5日

テ ー マ 「もっと知りたい麦の流  
通」

話題提供者 七戸 長生(当研究  
所・所長)

○石狩支庁管内農業の発展方向  
を検討するシンポジウム・  
話題提供

主 催 石狩支庁

と き 平成10年7月23日

テ ー マ 「石狩の農業の発展方向  
と、普及事業のあり方」

パネラー 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

○平成10年度中央アジア「農産  
物市場経済コース」研修

主 催 国際協力事業団(JICA)

と き 平成10年7月31日

テ ー マ 「北海道農業の営農シス  
テム」

講演者 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

主 催 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

と き 平成10年7月31日

テ ー マ 「北海道農業の営農シス  
テム」

講演者 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

主 催 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

と き 平成10年7月31日

テ ー マ 「北海道農業の営農シス  
テム」

講演者 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

主 催 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

と き 平成10年7月31日

テ ー マ 「北海道農業の営農シス  
テム」

講演者 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

主 催 富田 義昭(当研究所・  
常務理事)

と き 平成10年7月31日

DATA FILE

関連事項 / DATA

(財)北海道農業開発公社  
〒060-0005札幌市中央区北5条西6丁目  
☎011(271)2231

ホクレン農業協同組合連合会  
〒060-0004札幌市中央区北4条西1丁目  
☎011(232)6108 広報宣伝課

J A しおのや  
〒329-1312 塩谷郡石家町  
大字桜野1670番地2  
☎028(681)7555

北海道立中央農業試験場  
〒069-1456夕張郡長沼町  
東6線北15号  
☎01238(9)2001

福島県厚生農業協同組合連合会  
〒960-0231福島県福島市  
飯坂町平野字三枚長1-1  
☎0245(54)3451

当麻町役場  
〒078-1393上川郡当麻町  
3条東2丁目11番1号  
☎0166(84)2111

J A 当麻  
〒078-1314上川郡当麻町  
4条東3丁目4番63号  
☎0166(84)3201

農業生産法人(有)当麻グリーンライフ  
〒078-1314上川郡当麻町  
4条東3丁目4番63号  
☎0166(84)2044

### 編集後記

最近の子供は単語でしか会話を  
しないと心配している専門家が  
いる事が道新のコラムに書かれて  
いた。

「野球は見るの?」と聞けば「見  
る。」「このファンなの?」には  
「巨人」で済ませてしまうと嘆い  
ている。少子化のために家庭で大  
事にされて、文章にならない単語  
でも親が理解してくれる事が原因  
らしい。他人と語り合える言葉は  
「思いやり」にも欠かせない。そ  
れで、親は心を鬼にして子供に明

瞭な言葉をしゃべらせようと結ん  
でいる。  
ここしばらく農家アンケートの  
作成に無い知恵を絞っていたが、  
考えてみるといかに農家の方が、  
答えやすい、それも単語で答えて  
もらう方が集計しやすいと言っ  
て質問を考えている事に気付い  
た。

問題はそんなに単純だろうか  
経営の将来を見通すにはあまりに  
不安定で、個人ではどうしようも  
ない問題が山のように立ちほだか  
っている。その状況に対して、あ  
なたは今後経営を拡大しますか?  
それとも縮小しますか?では、先

ほどの子供だつてなかなか答えら  
れない。農家一農協一行政が本音  
で心を割って話し合う事ではここ  
の難局を乗り切る知恵は湧いてこ  
ないのではないか。

春先の高温で出足好調な生育を  
見ていた農作物も、ここに来て低  
温注意報が数日続くようだ。

北海道神宮のお祭り頃は天気  
悪い日が多いが、何とか回復して  
豊作の秋を久しぶりに謳歌した  
物だ。

30号は農村の高齢化と農協の福  
祉事業をとりあげました。栃木県  
塩野谷農協の事例は新しい農協の  
あり方と云えましよう。